

令和6年度 学校評価報告書（目標設定・実施結果）

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	<p>①社会で求められる基礎・基本的な学力や技能を定着させ、それらを活用できる能力を養うためにきめ細かな学習指導・個別支援の充実を図る。</p> <p>②本校の育てたい生徒像の実現に向けた特色ある教育課程を編成する。</p>	<p>①生徒の特性や学習到達度に対応した学習活動、個別支援の充実を図り、ICT機器を積極的に活用した組織的な授業改善を一層推進する。</p> <p>②育てたい生徒像を実現するために教育課程を展開する。</p>	<p>①学習内容のまとまりごとの振り返りを徹底し、本校の特色ある授業をより深化させ、ICT機器を積極的に活用しながら基礎学力の定着を図る。</p> <p>①指導と評価の一体化の視点から組織的な授業改善が図れるよう、校内授業研修会等を実施する。</p> <p>②生徒のニーズを把握し、生徒の自己実現達成に向けた学習活動を展開できたか。</p>	<p>①生徒による授業評価の「授業で身についたことや、できる実感があつた」の数値が3.5以上か。</p> <p>①授業の改善・工夫にICT機器を効果的に活用することができたか。</p> <p>②本校の育てたい生徒像の実現を測るアンケートや生徒面談を実施できたか。</p>
2	(幼児・児童・)生徒指導・支援	<p>①基本的生活習慣を確立させ、社会生活で求められる規範意識や判断力を身につけさせ、他者と協働できる態度を育てる。</p> <p>②生徒一人ひとりが得意分野や強味を活かせるよう、自己肯定感の高揚に繋がる支援体制の充実を図る。</p>	<p>①生徒の生活習慣を把握し、健康管理や食育等の多角的な視点からも生徒支援を行い、規則正しい生活習慣を確立する。</p> <p>②生徒一人ひとりが積極的に取り組める学校行事等を企画、立案する。</p>	<p>①生徒支援を充実させるために、かながわサポートドックの情報・評価を積極的に活用する。</p> <p>②特別活動や各種学校行事等において、生徒が主体的に活動できるよう、職員と生徒の連携を密にする。</p>	<p>①かながわサポートドックの評価をSC、SSWとも共有しながら、適切な生徒支援ができたか。</p> <p>②行事ごとに生徒アンケート等を実施し、生徒が主体的に取り組みながら達成感を得られることができたか。</p>
3	進路指導・支援	<p>生徒一人ひとりの進路希望の実現に向け、4年間を見通し、学年間での連携を図りながら、段階的かつ組織的な進路指導・支援体制を構築する。</p>	<p>①生徒一人ひとりが職業観や勤労観を身につけながら卒業後のキャリア形成について主体的に取り組むことができるよう、組織的な指導・支援体制を構築する。</p> <p>②進路意識の向上を企図した行事を実施する。</p>	<p>①学年ごとに目的を明確にした進路ガイダンスを実施し、適切な情報提供を行うとともに、段階的、かつ継続的な指導を通してキャリアを形成する。</p> <p>②インターンシップや総合的な探究の時間を活用しながら職業観や勤労観を養う。</p>	<p>①進路行事後のアンケート結果等から、生徒の充実感や進路意識の向上を図ることができたか。</p> <p>②インターンシップや総合的な探究の時間の成果として、進路未決定の卒業生をなくす(減らす)ことができたか。</p>
4	地域等との協働	<p>①地域の中の学校として、地域との関わりやつながりを取り入れた教育活動を充実させ、学校と地域の活性化を図る。</p> <p>②学校からの情報発信を積極的に広報し、家庭や地域社会との連携や交流を深め、地域に根差した学校づくりを推進する。</p>	<p>①地元自治会、地元関係機関との連携や交流を積極的に進め、学びに向かう姿勢を育む。</p> <p>②家庭や地域からの理解を深めるため、学校ホームページ等により効果的な情報発信を行う。</p>	<p>①地域行事へのボランティア参加や自治会との交流を積極的に図る。</p> <p>②学校ホームページや学校説明会等で、本校定時制の特色や魅力が伝わる広報活動を積極的に行う。</p>	<p>①卒業時に実施する特色アンケートにおいて活動に対する高い満足度を得られたか。</p> <p>②学校ホームページや学校説明会を通して、本校定時制の特色や魅力について情報を更新しながら本校の教育活動を広報できたか。</p>
5	学校管理 学校運営	<p>①生徒への支援等の時間を確保するために、組織的な学校運営と校務の効率化を図る。</p> <p>②防災意識や危機管理能力を高め、生徒の安全安心な学校生活を確保する。</p>	<p>①校務におけるICT機器の積極的な活用や業務マニュアルの見直し等により、業務の効率化を推進する。</p> <p>②夜間定時制として地域の実態に則した、実践的な防災訓練の形態を検討する。</p>	<p>①ICT機器の利活用を一層推進し、教職員間の業務連絡や各種会議を円滑に行う。</p> <p>②災害想定や防災訓練の内容等について見直し、検討する。</p>	<p>①オンライン環境の整備など、働き方改革をさらに進め、生徒と向き合う時間を十分に確保できたか。</p> <p>②生徒の在校が夜間であることを踏まえた実践的な防災訓練を実施できたか。</p>